

船舶事故調査報告書

平成30年1月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成29年7月17日 15時55分ごろ
発生場所	広島県江田島市江田島北方沖 屋形石灯標から真方位222° 690m付近 (概位 北緯34° 17.6′ 東経132° 28.4′)
事故の概要	プレジャーボート海等丸は、南西進中、反転し、南進中の旅客フェリー第十きりくしに衝突した。
事故調査の経過	平成29年7月27日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客フェリー 第十きりくし、383トン 142845、上村汽船株式会社 B プレジャーボート 海等丸、0.7トン HS3-42930（漁船登録番号）、個人所有 第270-31135号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	A 船長A、五級（航海） B 船長B、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	A 右舷船首部外板に擦過傷 B 左舷船首部外板に割損、船首部手すりが脱落
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 高潮時
事故の経過	A 船は、船長Aほか3人が乗り組み、旅客23人を乗せ、車両5台を積載し、約10ノットの対地速力で手動操舵により南進していた。 A 船は、単独の船橋当直に当たっていた船長Aが、左舷方からA船の前路を横切ったB船が右舷船首方至近で反転してA船に向けて接近する態勢となったことを認め、汽笛を吹鳴するとともに、機関を中立とし、後進をかけたが、B船と衝突した。 B 船は、船長Bが1人で乗り組み、家族1人を乗せて南西進中、出航した砂浜に戻ることに反転した直後、船長Bが左舷船首方至近にA船を初めて認め、機関を後進にかけたが、A船と衝突した。
分析	A 船は、南進中、船長Aが、右舷船首方至近で反転したB船を認め、機関を中立とし、後進をかけたが、B船が衝突したものと考えられる。 B 船は、南西進中、船長Bが、周囲の見張りを適切に行っていなかったことから、右舷船尾方至近に迫ったA船に気付かずに反転し、A船に衝突したものと考えられる。

原因	本事故は、江田島北方沖において、B 船が、南西進中、船長 B が、周囲の見張りを適切に行っていなかったため、右舷船尾方至近に迫った A 船に気付かずに反転し、南進中の A 船に衝突したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・航行中は、常時適切な見張りを行うこと。